

金武酒造所（泡盛鍾乳洞貯蔵）

施設管理者 : 金武酒造
施設所在地 : 沖縄県金武町
調査見学時期 : 平成9年12月4日（木）

施設概要

16世紀に建てられたと言われる真言宗の寺の境内に深さ約20m、全長270mに及ぶ鍾乳洞があり、泡盛の熟成に利用されていました。かつては、避難壕としても利用されたという、この鍾乳洞を地元の酒屋の娘さんが泡盛の貯蔵庫として活用することを考案したとのこと。自然に形成された鍾乳洞には殆ど手を加えることなく、酒蔵となる棚を効率よく配列し、まさに恒温・恒湿という地下の特性を利用した施設でありました。現在では、約5千本の泡盛が5年、10年という単位でキープされているとのことでした。

（GECニュース第100号より抜粋）